

一橋大学

<一橋大学 傾向と対策>

一橋大の英語出題内容と対策 (250~280点) 試験時間 120分

今後注意必要だが、これまで想定外になるような傾向変化はまずない。

設問	I	II	III	IV	V
問題	長文読解	長文読解	文法独立問題	自由英作文	Listening
設問内容	和訳 日本語理由説明×2 日本語内容 80字	和訳 空所補充 内容説明 50字 内容説明 100字	整序問題×4	図を見て100-130字 (3つの図から選択) 東大II A型 2014~	英問英答×6
傾向変化 問題バリエーション等	単語抜き出し(2015) 日本語選択肢内容真偽(2013/2011) 英文空所補充(早大文型・東大IB型) (2011/08)		誤文訂正(2015) 整序問題(2014) 整序問題(2013) 誤文訂正(2012) 出題なし(2011以前)	Opinion Writing (3テーマから選択)	問題数は5~6問 空所補充型(2011) Script完成(2006) (東外大型)

【一橋大学合格へのカギ】

配点を見れば分かるように、記述力を伴う高い英語力とハイレベルな数学力がなければ合格は難しい。もちろん、社会・国語は出来なくても大丈夫という訳ではないが、英数の学力がなければ合格はまず無理。センター試験も理科重視など変則的なので注意が必要だが全体的に高得点が必要。英数のどちらかを苦手に行っているような学生では合格はかなり厳しい。

□ 一橋大学英語攻略の基本戦術は以下の通り。

<得点源とすべき分野：リスニング+文法独立問題>

- リスニング問題 一見難しそうに見えるかもしれないが、解答として求められる英文はそれほど長くないし自由度がそれほど大きい訳ではないので確実に得点したい。質問文を先に見ておけば能率よく解答は出来るはず。訓練量をしっかり積んで本番に臨みたい。
- 文法独立問題 中には発想力を問うような語彙・語法系の問題もあるが、基礎力がしっかりしていれば確実に解答出来るものが中心。易しい英語を確実に Output 出来る力を鍛えておこう。
- 自由英作文問題 2015年では3つの選択肢のうちの1つが、2016年では3つの選択肢の全てが東大II A型の図の説明に変化した。ただし、東大よりも指定後数が長い。どういう解答を書くべきか本当のところは大学に聞いてみないと分からないが（教えてくれませんが）、東大のように中学レベルの英語でもミスがない英語を書けばよい、とは言えないだろう。従来の自由英作文のテーマがそれなりに骨太であったことを考えると、エッセイライティングの能力を鍛える訓練が必要だと思われる。是非とも得点源にしたい分野である。

- 長文読解記号問題 出題される英文の質は東大よりも難しい。哲学者ブーバーについての長文など普通の高校生の読書ではアカデミックな内容に対応出来ないものも普通に出題される。問題として近いのは慶應大・文や京都大学の長文など。記号問題も知識を問う単純な問題ではなく、文脈を考えて論理的に解答出来るかどうかを試す問題。
- 和訳問題 決して難しくないが駿台タイプの模擬試験を苦手に行っているような生徒では厳しい。下線部だけでなく、全体理解に基づいた解答をしっかりと書けるように練習しておきたい。
- 内容に関する問題 形式としては慶應大・文に近い（京大の記述は下線部周辺のみで解答出来るものが多いので問題としては一橋とは異質）。ただ、解答の根拠とすべき本文の該当箇所をしっかりと見抜いて解答すれば、慶應大・文よりは素直。ただし、辞書は使えないので基礎知識と本文が要求する知的レベルに対応出来ることが必要。
- その他 今後 2020 年の教育の分岐点前後の過程でどう変わるかは未知数であるが、これまでにそれほど乱暴な傾向変化がないことから判断すると、きちんと学習してきた学生にとって多少変化があっても「想定内」で済むだろう。Logical 系の問題の出題は近年やや減っているが、出題されないと決め付けるのは危険。いずれにしても小手先の技など通用しない！